

第1章 交通ネットワーク及び都市連携の基礎となる生活圏の現状

1. 生活圏の想定

(1) 生活圏区分の考え方

北東北三県における交通ネットワーク及び都市機能連携の方向を検討するためには、その基礎となる住民の日常的生活行動の状況（中心都市及びその依存関係にある市町村からなる基礎的な複数の範囲を想定する。これを以下、「生活圏（＝エリア）」と言う。）を把握することが必要である。

本調査では、昼夜間人口比及び通勤流動を基本とした生活圏を、次に示す考え方に基づき想定した。なお、消費行動や広域市町村圏の枠組みなどについてもこの後で触れているが、住民の日常生活に即した行動範囲を捉えるため、本調査では、便宜的にこの節で想定する生活圏を基本として検討を進めていくこととする。

【生活圏の考え方】

圏域の中で中核性の高い都市を抽出

三県内の全市町村の昼夜間人口比（昼間人口 / 常住人口（夜間人口）× 100）を調査し、この値が100%以上の市町村を中核性の高い都市とした。

「中核性の高い都市」を中心とした生活圏のゾーニング

で抽出した中核性の高い都市を中心に、他市町村への就業依存率（常住する就業者のうち他市区町村に従業する者 / 常住する就業者 × 100）が5～10%を越える市町村を生活圏とするゾーニングを行った。

生活圏を想定

までの検討を踏まえ、その中で、周辺への流出がない都市を中心とした範囲を生活圏（エリア）とした。なお、中核性は高いが周辺への流出がある（他のエリアに含まれる）都市を中心とした範囲については、これらに準ずる生活圏（準エリア）とした。

「エリア」の構成市町村のうち、他のエリアにも重複して依存している市町村については、その就業依存率の高い方のエリアに含んだ。

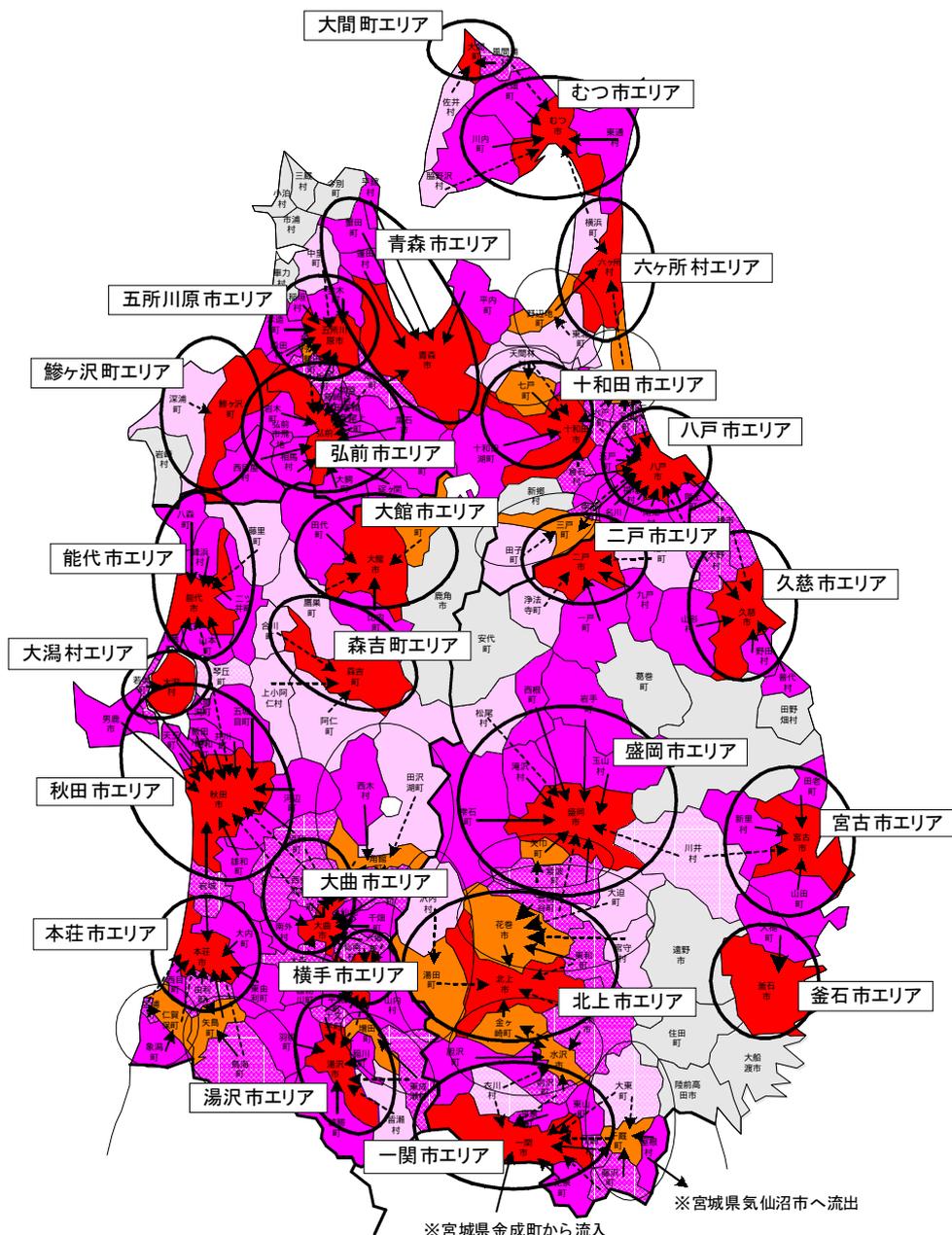
「準エリア」は、中心都市に依存する構成市町村が、他のエリアと重複している場合もあるため、参考として扱っている。

なお、エリア及び準エリアに所属しない市町村の多くは、自市町村内就業率が高く自立性の高い市町村である。

(2) 生活圏の区分

以上の考えに基づき、次図に示すとおり生活圏の区分を行った。

図表 1 - 1 - 1 生活圏の想定



※宮城県金成町から流入 ※宮城県気仙沼市へ流出

- 集中度大 ↑
- 依存度大 ↑
- 昼夜間人口比100%以上(他市町村への流出がない)
 - 昼夜間人口比100%以上、かつ、他市町村への就業依存率5%以上
 - 他市町村への就業依存率10%以上(1地域に依存)
 - 他市町村への就業依存率5%及び10%以上(複数地域へ依存)
 - 他市町村への就業依存率5%以上(1地域に依存)
 - 他市町村への就業依存率5%以上(複数地域へ依存)
 - 他市町村への就業依存率が10%以上の人の動き
 - 他市町村への就業依存率が5%以上の人の動き
 - 上記に含まれない地域のうち、自市町村就業率の高い地域(当該市町村内の就業率が、各県エリア内の平均就業率を越え、かつ、他市町村への就業依存率が5%に満たない地域)

図表 1 - 1 - 2 生活圏（エリア）の状況（青森県）

エリア

	2000年 (平成12年)		
	人口 (人)	エリア中心市町 村で就業する就 業者の割合 (%)	自市町村で就業 する就業者の割 合 (%)
青森市エリア	343,201		
青森市	297,859	97.0%	97.0%
平内町	14,528	19.2%	75.9%
蟹田町	4,010	16.5%	76.6%
蓬田村	3,480	29.8%	63.8%
平館村	2,451	10.0%	83.2%
浪岡町	20,873	13.3%	65.4%
弘前市エリア	309,353		
弘前市	177,086	87.9%	87.9%
黒石市	39,059	11.5%	73.7%
岩木町	12,278	26.9%	67.9%
相馬村	3,853	22.9%	70.7%
西目屋村	2,049	29.1%	63.0%
藤崎町	10,327	24.3%	57.8%
大鱒村	12,881	27.3%	60.9%
尾上町	10,167	22.0%	52.1%
平賀町	22,861	21.8%	65.1%
常盤村	6,531	20.0%	53.2%
田舎館村	8,835	24.6%	49.8%
碓ヶ関村	3,426	20.6%	61.9%
八戸市エリア	358,760		
八戸市	241,920	93.4%	93.4%
百石町	10,109	28.5%	49.6%
下田町	13,111	15.7%	38.6%
五戸町	17,850	22.7%	66.2%
名川町	9,250	19.6%	63.0%
南部町	6,104	11.4%	62.3%
階上町	15,618	52.3%	38.4%
福地村	7,242	40.4%	46.6%
南郷村	6,688	27.7%	65.3%
倉石村	3,468	11.1%	60.6%
種市町	14,177	20.8%	60.8%
三戸町	13,223	5.8%	76.8%
五所川原市エリア	139,398		
五所川原市	49,193	79.0%	79.0%
木造町	19,988	11.6%	72.0%
森田村	5,116	10.5%	68.9%
柏村	5,155	20.1%	59.8%
稲垣村	5,120	13.9%	67.0%
板柳町	16,840	25.8%	71.3%
金木町	11,104	14.2%	71.4%
鶴田町	15,795	11.9%	70.4%
中里町	11,087	7.9%	79.3%
十和田市エリア	109,397		
十和田市	63,363	84.7%	84.7%
七戸町	10,634	13.7%	70.4%
十和田湖町	6,267	27.7%	66.2%
六戸町	10,481	15.1%	55.9%
上北町	9,929	7.9%	63.1%
天間林村	8,723	9.0%	63.2%
むつ市エリア	74,997		
むつ市	49,341	91.1%	91.1%
川内町	5,747	16.1%	78.9%
大畑町	9,159	23.8%	70.9%
東通村	7,975	18.7%	72.0%
脇野沢村	2,775	8.5%	67.0%
鱒ヶ沢町エリア	22,505		
鱒ヶ沢町	13,551	84.9%	84.9%
深浦町	8,954	7.0%	87.1%
六ヶ所村エリア	75,864		
六ヶ所村	11,849	95.2%	95.2%
野辺地町	16,012	10.2%	74.6%
三沢市	42,495	7.2%	79.1%
横浜町	5,508	9.6%	76.9%
大間町エリア	12,369		
大間町	6,566	92.1%	92.1%
風間浦村	2,793	10.3%	72.5%
佐井村	3,010	5.2%	86.0%

その他の市町村

	2000年 (平成12年)		
	人口 (人)	備考	自市町村で就業 する就業者の割 合 (%)
その他の市町村	44,061		
市浦村	2,911	自市内就業率が 高く(84.7%)>I7 平均69.8%)自立 性が高い	84.7%
小泊村	4,238	同上 (84.7%)>I7平均 69.8%)	78.5%
車力村	5,941	同上 (82.7%)>I7平均 69.8%)	82.7%
三厩村	2,709	同上 (88.9%)>I7平均 69.8%)	88.9%
今別町	4,124	同上 (81.5%)>I7平均 69.8%)	81.5%
岩崎村	2,845	同上 (85.3%)>I7平均 69.8%)	85.3%
新郷村	3,343	同上 (81.5%)>I7平均 69.8%)	81.5%
東北町	10,662	準エリア(野辺 地町)に所属	72.9%
田子町	7,288	準エリア(三戸 町)に所属	80.9%

準エリア

	2000年 (平成12年)		
	人口 (人)	エリア中心市町 村で就業する就 業者の割合 (%)	自市町村で就業 する就業者の割 合 (%)
三沢市エリア	86,125		
三沢市	42,495	79.1%	79.1%
上北町	9,929	12.9%	63.1%
六戸町	10,481	12.0%	55.9%
下田町	13,111	26.6%	38.6%
百石町	10,109	7.8%	49.6%
野辺地町エリア	26,674		
野辺地町	16,012	74.6%	74.6%
東北町	10,662	5.0%	72.9%
三戸町エリア	26,615		
三戸町	13,223	76.8%	76.8%
南部町	6,104	12.6%	62.3%
田子町	7,288	9.5%	80.9%

「その他の市町村」は、準エリアに所属、あるいは、自市町村内の就業率が高く、自立した就業構造となっている。

資料：平成12年 国勢調査

図表 1 - 1 - 3 生活圏（エリア）の状況（岩手県）

エリア

	2000年 (平成12年)		
	人口 (人)	エリア中心市町 村で就業する就 業者の割合 (%)	自市町村で就 業する就業者 の割合 (%)
盛岡市エリア	495,905		
盛岡市	288,843	87.4%	87.4%
雫石町	19,750	23.8%	67.3%
岩手町	17,372	10.9%	72.6%
西根町	19,031	10.6%	69.0%
滝沢村	51,241	44.4%	42.4%
玉山村	14,014	21.2%	58.9%
紫波町	33,038	24.8%	57.1%
矢巾町	25,268	36.5%	50.6%
松尾村	7,064	7.1%	67.2%
石鳥谷町	16,521	7.8%	58.0%
川井村	3,763	8.1%	79.7%
宮古市エリア	84,437		
宮古市	54,638	91.9%	91.9%
田老町	4,800	21.4%	70.8%
山田町	21,214	13.1%	76.5%
新里村	3,785	32.5%	62.0%
北上市エリア	229,285		
北上市	91,501	86.1%	86.1%
花巻市	72,995	10.7%	78.6%
金ケ崎町	16,383	13.0%	64.1%
江刺市	33,687	5.6%	72.1%
東和町	10,710	8.0%	64.2%
湯田町	4,009	8.4%	83.6%
久慈市エリア	55,244		
久慈市	36,796	91.0%	91.0%
普代村	3,583	13.8%	77.4%
野田村	5,195	28.9%	64.4%
山形村	3,382	12.3%	82.5%
大野村	6,288	11.6%	71.8%
一関市エリア	164,291		
一関市	63,510	85.2%	85.2%
花巻町	16,127	22.3%	60.7%
平泉町	9,054	29.2%	54.3%
東山町	8,493	15.1%	64.3%
川崎村	4,634	19.0%	59.5%
前沢町	15,438	5.2%	65.3%
衣川村	5,290	9.6%	58.7%
大東町	17,789	6.4%	74.3%
藤沢町	10,452	7.6%	70.2%
千厩町	13,504	5.1%	75.1%
釜石市エリア	64,001		
釜石市	46,521	93.2%	93.2%
大槌町	17,480	25.5%	66.2%
二戸市エリア	69,222		
二戸市	27,678	85.1%	85.1%
九戸村	7,324	10.3%	77.0%
一戸町	16,933	11.7%	78.9%
軽米町	11,863	6.7%	79.0%
浄法寺町	5,424	8.1%	80.9%

その他の市町村

	2000年 (平成12年)		
	人口 (人)	備考	自市町村で就 業する就業者 の割合 (%)
その他の市町村	239,618		
水沢市	60,990	準エリア（水沢市）の中心都市	73.8%
胆沢町	17,651	準エリア（水沢市）に所属	58.8%
室根村	6,316	準エリア（千厩町）に所属	65.0%
沢内村	3,974	準エリア（湯田町）に所属	80.6%
宮守村	5,427	準エリア（花巻市）に所属	68.3%
大迫町	6,949	準エリア（花巻市）に所属	70.8%
安代町	6,390	市内就業率が 高く(84.6%)>エリア 平均(71.5%)自立 性が高い	84.6%
葛巻町	8,725	同上 (80.7%)>エリア平均 71.5%)	80.7%
田野畑村	4,529	同上 (82.3%)>エリア平均 71.5%)	82.3%
岩泉町	12,845	同上 (91.4%)>エリア平均 71.5%)	91.4%
遠野市	27,681	同上 (92.0%)>エリア平均 71.5%)	92.0%
大船渡市	36,570	同上 (90.3%)>エリア平均 71.5%)	92.5%
陸前高田市	25,676	同上 (75.6%)>エリア平均 71.5%)	75.6%
住田町	7,305	同上 (79.7%)>エリア平均 71.5%)	79.7%

準エリア

	2000年 (平成12年)		
	人口 (人)	エリア中心市町 村で就業する就 業者の割合 (%)	自市町村で就 業する就業者 の割合 (%)
水沢市エリア	149,439		
水沢市	60,990	73.8%	73.8%
江刺市	33,687	14.6%	72.1%
金ケ崎町	16,383	12.6%	64.1%
前沢町	15,438	16.9%	65.3%
胆沢町	17,651	26.3%	58.8%
衣川村	5,290	8.8%	58.7%
千厩町エリア	48,061		
千厩町	13,504	75.1%	75.1%
藤沢町	10,452	10.6%	70.2%
室根村	6,316	11.9%	65.0%
大東町	17,789	7.3%	74.3%
花巻市エリア	112,602		
花巻市	72,995	78.6%	78.6%
東和町	10,710	19.0%	64.2%
石鳥谷町	16,521	19.6%	58.0%
宮守村	5,427	9.5%	68.3%
大迫町	6,949	8.4%	70.8%
湯田町エリア	7,983		
湯田町	4,009	83.6%	83.6%
沢内村	3,974	9.3%	80.6%

「その他の市町村」は準エリアに所属、あるいは、自市町村内の就業率が高く、自立した就業構造となっている。

三陸町は平成13年11月に大船渡市と合併しているため、データ上大船渡市に含めた。

【宮城県との関係】

一関市へは、三県内の他、宮城県金成町から13.8%の流入があり県境を越えた依存関係にある。

室根村からは、宮城県気仙沼市へ11.5%の流出があり県境を越えた依存関係にある。

資料：平成12年 国勢調査

図表 1 - 1 - 4 生活圏（エリア）の状況（秋田県）

エリア

	2000年 (平成12年)		
	人口 (人)	エリア中心市町村 で就業する就業者の割合 (%)	自市町村で就業 する就業者の割合 (%)
秋田市エリア	458,571		
秋田市	317,625	94.3%	94.3%
男鹿市	30,469	13.8%	77.3%
五城目町	12,372	16.6%	61.2%
昭和町	8,997	32.9%	48.9%
八郎潟町	7,533	21.5%	50.9%
飯田川町	5,027	29.4%	42.9%
天王町	21,687	39.8%	42.8%
井川町	6,116	22.6%	49.7%
若美町	7,661	12.0%	61.4%
河辺町	10,669	42.4%	50.1%
雄和町	8,352	32.3%	62.6%
岩城町	6,582	27.4%	55.1%
協和町	9,307	21.4%	58.8%
琴丘町	6,174	7.7%	66.8%
能代市エリア	95,581		
能代市	53,266	90.3%	90.3%
二ツ井町	11,971	15.6%	72.8%
八森町	4,726	23.8%	68.5%
山本町	8,524	18.3%	64.9%
八竜町	7,414	20.1%	63.8%
峰浜村	4,972	32.4%	56.0%
藤里町	4,708	8.7%	71.4%
横手市エリア	117,385		
横手市	40,521	83.4%	83.4%
仙南村	8,381	17.1%	49.0%
平鹿町	14,941	20.6%	61.9%
雄物川町	11,300	13.6%	68.9%
大森町	8,103	12.1%	64.9%
十文字町	14,517	12.1%	61.0%
山内村	4,659	30.6%	57.3%
大雄村	5,864	23.6%	56.5%
増田町	9,099	8.5%	64.5%
大館市エリア	115,277		
大館市	66,293	88.5%	88.5%
比内町	12,095	33.1%	61.1%
田代町	7,900	30.0%	58.8%
小坂町	7,171	5.3%	75.2%
鷹巣町	21,818	6.4%	80.6%
本荘市エリア	103,320		
本荘市	45,724	78.3%	78.3%
矢島町	6,246	14.9%	74.3%
由利町	6,209	31.1%	50.9%
西目町	6,615	24.9%	45.5%
東由利町	4,860	12.1%	82.5%
大内町	9,794	28.0%	59.2%
仁賀保町	11,951	8.0%	70.5%
金浦町	5,108	6.8%	57.5%
鳥海町	6,813	6.7%	69.7%
湯沢市エリア	81,379		
湯沢市	34,963	80.4%	80.4%
稲川町	10,845	11.9%	72.3%
雄勝町	9,656	18.5%	74.5%
羽後町	19,485	17.9%	72.2%
東成瀬村	3,390	8.3%	59.8%
皆瀬村	3,040	9.4%	69.7%
大曲市エリア	119,521		
大曲市	39,615	77.1%	77.1%
神岡町	6,209	23.2%	54.8%
西仙北町	10,897	11.3%	63.3%
六郷町	7,286	16.2%	59.2%
中仙町	11,870	13.0%	60.1%
南外村	4,721	19.3%	60.0%
仙北町	7,905	27.7%	50.1%
太田町	7,802	11.2%	63.6%
千畑町	8,540	16.8%	59.2%
角館町	14,676	6.0%	71.4%
森吉町エリア	23,601		
森吉町	7,806	79.1%	79.1%
阿仁町	4,443	8.9%	83.5%
合川町	7,983	6.8%	72.3%
上小阿仁村	3,369	8.2%	74.2%
大潟村エリア	3,323		
大潟村	3,323	92.6%	92.6%

大潟エリアは表記以外に若美町(秋田市エリア)からの流入(5.7%)あり。

その他の市町村

	2000年 (平成12年)		
	人口 (人)	備考	自市町村で就業 する就業者の割合 (%)
その他の市町村	71,321		
鹿角市	39,144	自市内就業率が高く(89.5%)>エリア平均65.8%)自立性が高い	89.5%
田沢湖町	12,899	準エリア(角館市)に所属	79.2%
象潟町	13,288	準エリア(仁賀保町)に所属	69.1%
西木村	5,990	準エリア(角館市)に所属	61.4%

準エリア

	2000年 (平成12年)		
	人口 (人)	エリア中心市町村 で就業する就業者の割合 (%)	自市町村で就業 する就業者の割合 (%)
角館町エリア	53,237		
角館町	14,676	71.4%	71.4%
中仙町	11,870	11.7%	60.1%
西木村	5,990	16.3%	61.4%
田沢湖町	12,899	9.6%	79.2%
太田町	7,802	5.2%	63.6%
仁賀保町エリア	36,962		
仁賀保町	11,951	70.5%	70.5%
象潟町	13,288	16.4%	69.1%
金浦町	5,108	12.6%	57.5%
西目町	6,615	13.3%	45.5%

「その他の市町村」は、準エリアに所属、あるいは、自市町村内の就業率が高く、自立した就業構造となっている。

資料：平成12年 国勢調査

(3) 消費行動と生活圏の関わり

ここでは、先に想定した生活圏の妥当性を確認するため、消費行動（商圏構造）との関わりをみた。

各県の商圏構造と生活圏の関わりを表したものが次図であり、三県とも双方のエリアが概ね一致していることから、商圏との関わりからみると生活圏の想定は妥当と考えられる。

各県とも品目構成が異なり、青森県及び岩手県は品目総合でみた商圏、秋田県は最寄り品でみた商圏を示している。

青森県のみ、県外地域からの消費行動を含んでいる。

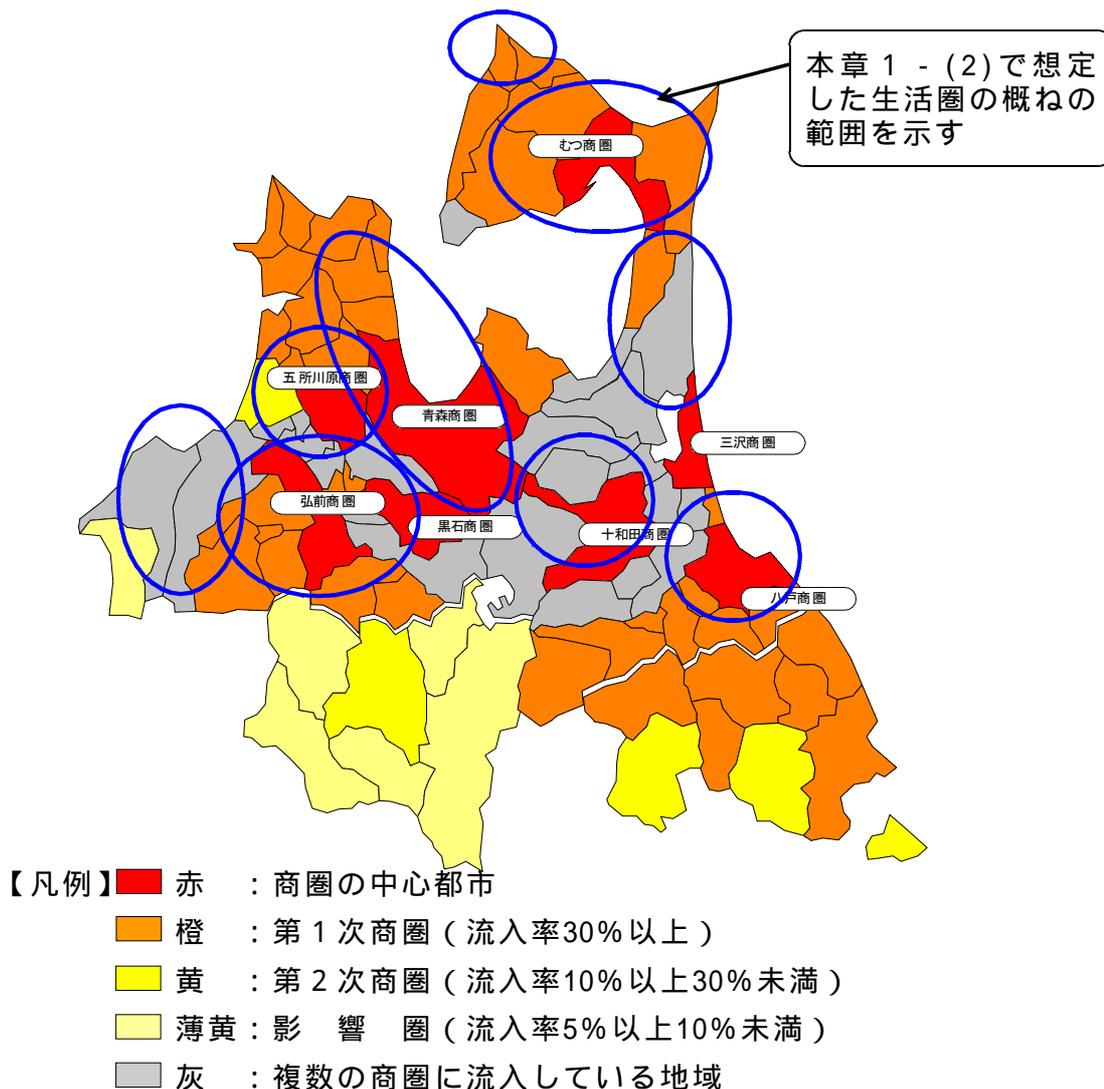
青森県

鱒ヶ沢町エリア、六ヶ所村エリア、大間町エリアは近接する複数の商圏に吸引されているが、それ以外のエリアでは、エリアの中心都市と商圏の中心都市、エリア範囲と商圏範囲（～2次商圏）がほぼ一致している。

準エリアである三沢市エリアの中心である三沢市、ならびに弘前市エリアに属する黒石市は、県内の1つの商圏を構成する中心都市である。

八戸商圏ならびに弘前商圏は、岩手県及び秋田県北部の地域からの流入がみられる。

図表 1 - 1 - 5 消費行動と生活圏の関わり（青森県）

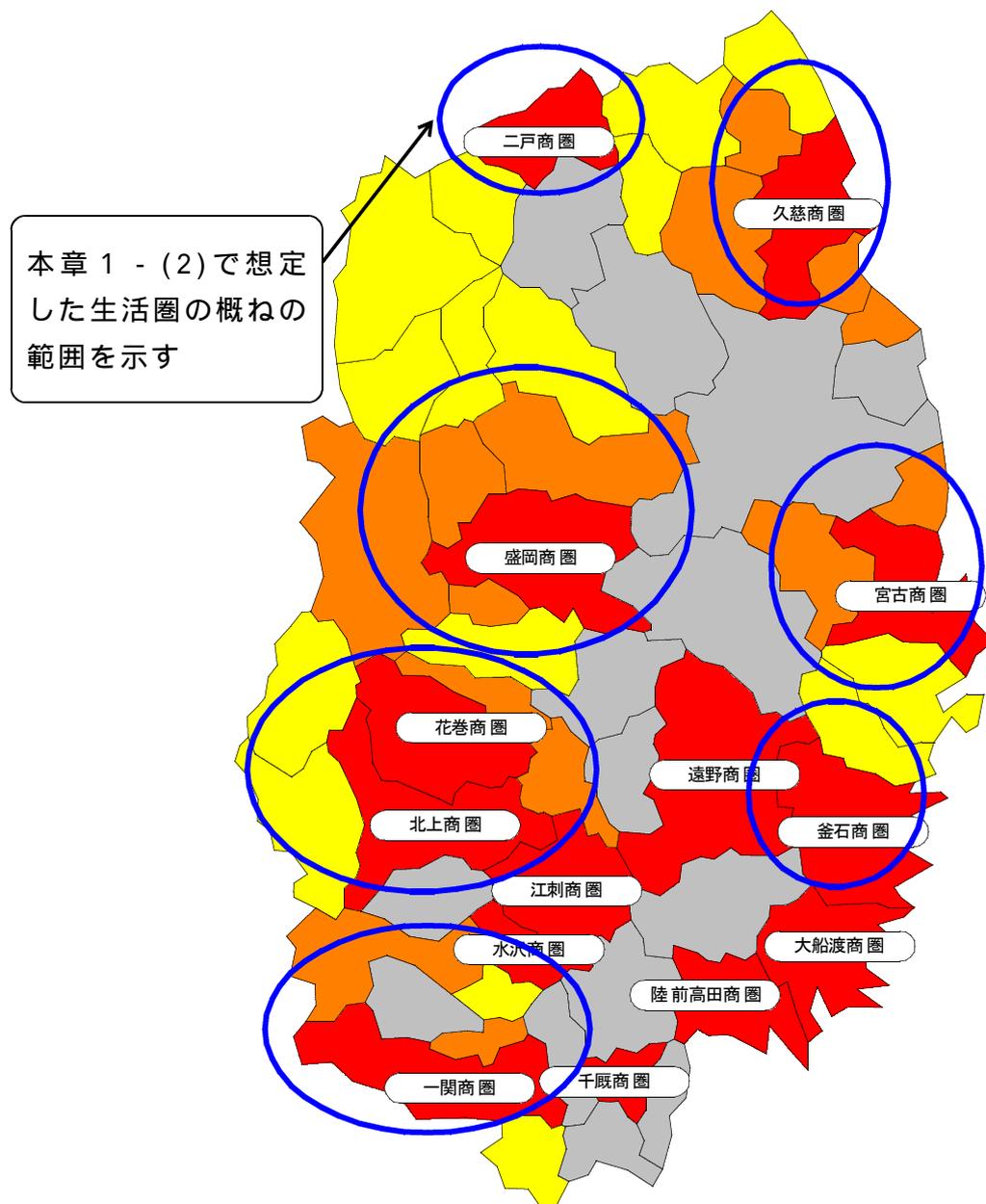


岩手県

エリアの中心都市と商圏の中心都市、エリア範囲と商圏範囲（～影響圏）がほぼ一致している。

エリアの中心都市以外では、花巻市、遠野市、大船渡市、江刺市、水沢市、陸前高田市、千厩町は、県内の1つの商圏を構成する中心都市（市町）である。

図表1-1-6 消費行動と生活圏の関わり（岩手県）

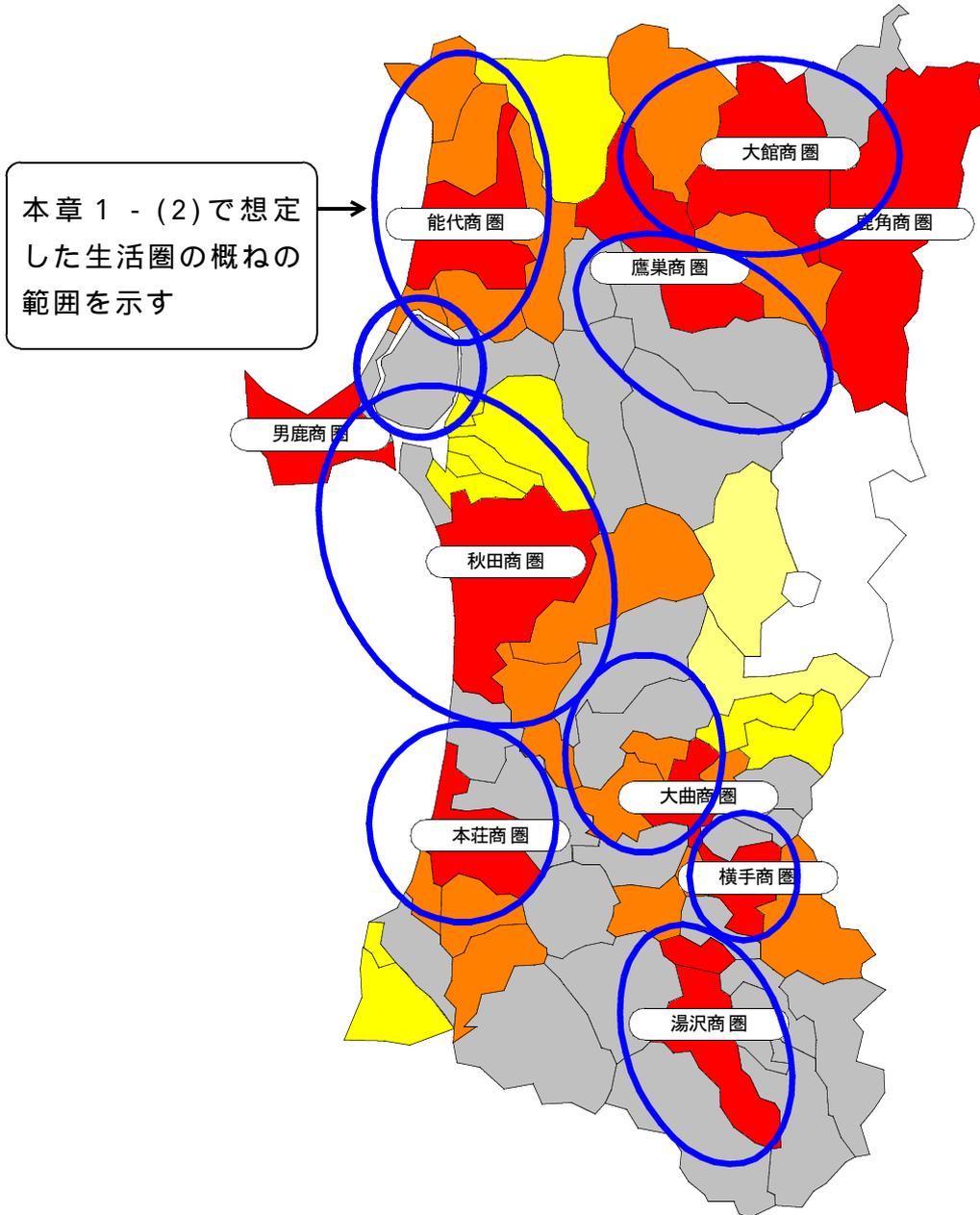


- 【凡例】
- 赤 : 商圏の中心都市
 - 橙 : 第1次商圏（流入率30%以上）
 - 黄 : 第2次商圏（流入率10%以上30%未満）
 - 薄黄 : 影響圏（流入率5%以上10%未満）
 - 灰 : 複数の商圏に流入している地域

秋田県

森吉町エリア（大館商圏、鷹巣商圏）、大潟村エリア（男鹿商圏、能代商圏、秋田商圏）は近接する複数の商圏に吸引されているが、それ以外のエリアでは、エリアの中心都市と商圏の中心都市、エリア範囲と商圏範囲（～影響圏）がほぼ一致している。エリアの中心都市以外では、準エリアの中心である角館町他、鷹巣町、男鹿市、十文字町は、県内の1つの商圏を構成する中心都市（市町）である。

図表 1 - 1 - 7 消費行動と生活圏の関わり（秋田県）



- 【凡例】
- 赤 : 商圏の中心都市
 - 橙 : 第1次商圏（流入率30%以上）
 - 黄 : 第2次商圏（流入率10%以上30%未満）
 - 薄黄 : 影響圏（流入率5%以上10%未満）
 - 灰 : 複数の商圏に流入している地域

(4) 広域市町村圏と生活圏の関わり

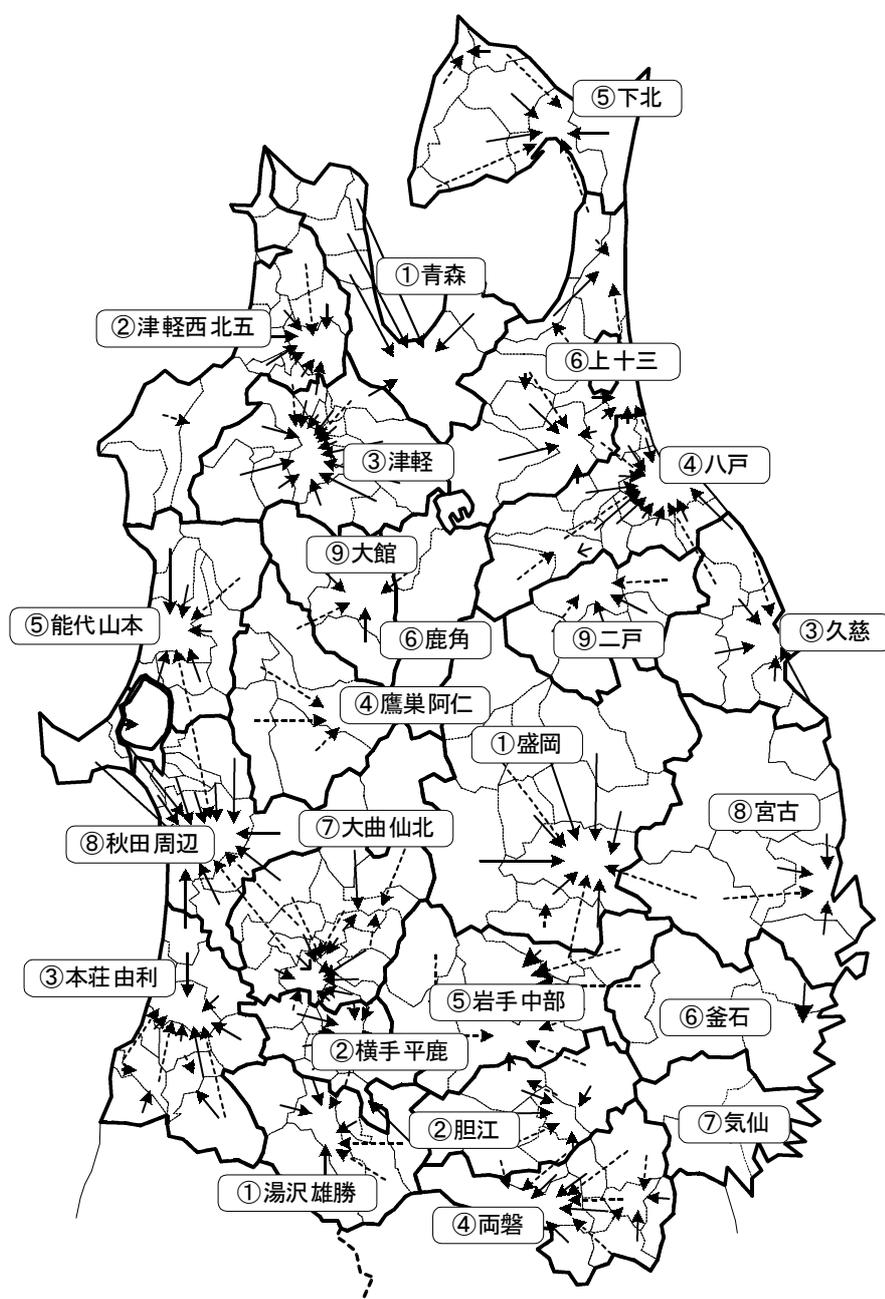
広域市町村圏は、旧自治省が地方圏の都市及び周辺農山漁村地域の一体的整備を目指し、昭和44年度（1969年度）から設定を開始したもので、「概ね人口10万以上の規模を有する日常生活圏」と定義され、今日でも日常的な生活圏として捉えられている。

ここでは、先に想定した生活圏の妥当性を確認するため、広域市町村圏との関係をみた。

北東北三県における広域市町村圏と生活圏の関わりを表したものが次図である。

先に想定した生活圏が複数含まれている場合もあるが、広域市町村圏の範囲内にこれら生活圏が含まれる形になっており、規模の差はあるものの、概ね生活圏と広域市町村圏の範囲は重複する関係にある。

図表 1 - 1 - 8 広域市町村圏と生活圏の関わり



図中の矢印は先に想定した生活圏内での中心都市への移動（就業依存率5%以上）状況を示している。
太枠の範囲は各県の広域市町村圏の範囲を示している。